

旧大橋図書館創立120周年記念事業

蔵書紹介

旧大橋図書館を 知っていますか？

Part 3

閉館から三康図書館へ

6月7日[火] ▶ 7月1日[金]

旧大橋図書館（1902-1953）は、明治を代表する出版社「博文館」創業者の大橋佐平が設立を志し、息子の新太郎により設立された私立図書館です。

多岐にわたる所蔵資料は子どもから大人まで幅広い層に利用され、**三康図書館に引継がれています。**2022年は旧大橋図書館が開館し120年という節目を迎えます。

6月に開催する記念講演会をはじめりとして、様々なテーマで所蔵資料の魅力を知ることができる記念事業を開催いたします。

4月から旧大橋図書館の歴史を3つのパートごとに紹介してきました。

Part3は、戦後の閉館から三康図書館へ引継がれるまで事がテーマです。

場所：三康図書館 閲覧室

開館時間：10:30-16:30（平日のみ）

オンライン講演会「公共図書館の源流 大橋図書館」

6月25日（土）14:00-15:30 Zoomによるオンライン開催

閲覧室内の
蔵書紹介と
特集コーナーは、
自由にご覧いただけます
（無料）

閲覧席は100円で
1日中ご利用できます



公益財団法人 三康文化研究所 附属
三康図書館
SANKOLIBRARY